

放射性物質濃度と空間放射線量の測定結果について

◎問い合わせ ①②に関すること/清養園クリーンセンター(☎62-2878) ③④に関すること/市環境課(☎62-2111内線322)

①放射性物質を含む牧草とその本焼却に伴う焼却灰などの放射性物質濃度測定結果

■測定結果(5月22日～6月18日) 焼却牧草・主灰・飛灰の濃度は「国の埋設安全処理基準値8,000Bq(ベクレル)/kg」と「市独自の焼却停止基準値6,400Bq/kg」を、放流水は「国の管理基準値1」をそれぞれ下回っていました

測定物質	測定値	
	最大値	最小値
焼却牧草	基準値以下 632 Bq/kg	基準値以下 11 Bq/kg
主灰	基準値以下 79 Bq/kg	基準値以下 36 Bq/kg
飛灰	基準値以下 437 Bq/kg	基準値以下 138 Bq/kg
放流水	基準値以下 0.064	基準値以下 0.046

②清養園、一般廃棄物最終処分場周辺の空間放射線量測定値

■測定日 5月22・29日、6月5・11日
■測定結果 焼却停止基準(国の基準)「地表から50cm地点で0.23μSv(マイクロシーベルト)/時」を下回っていました

単位: μSV/時

測定場所	測定値	
	最大値	最小値
新田地区付近	0.05	0.05
新田地区自治会館	0.06	0.05
7区消防コミセン	0.05	0.04
新里地区付近	0.06	0.06
日影自治会館	0.07	0.06
我丸地区付近	0.05	0.05
綾織地区センター	0.05	0.05
上中宿公民館	0.05	0.04
日影橋付近	0.07	0.06
一般廃棄物最終処分場 周辺(宮守町宮守)	0.04	0.03

③農作物などの放射性物質濃度測定結果

■調査内容 県・市が行うサンプル調査と、市の測定検査サービスでの調査を基にしています
■放射性セシウム基準値(国の基準) ▷飲料水 10Bq/kg ▷一般食品 100Bq/kg ▷牛乳 50Bq/kg
■測定結果(5月22日～6月18日) 全品目が、国が定める安全基準値を下回りました
■市内の出荷制限品目(5月31日現在) ▷原木シイタケ ▷野生キノコ類(全種類)▷コシアブラ
■県内全域の出荷制限品目(5月31日現在) 野生鳥獣肉(クマ、シカ、ヤマドリ)

品目	採取場所	測定日	測定結果
			放射性セシウム
原乳	遠野コールドセンター	5月19・26日、6月2・9日	検出せず
肉牛	榊岩手畜産流通センター	5月22日～6月18日	検出せず
ホウレンソウ	土淵町	5月20日	検出せず
フキ	市内3カ所	5月29日	検出せず
コゴミ	土淵町	5月30日	検出せず
ワラビ	綾織町	5月27日	基準値以下
	土淵町	5月30日	検出せず
レタス	青笹町	6月12日	検出せず

④市内小学校校庭の空間放射線量測定値

■測定日 6月16日から19日までの間で1日
■測定結果 国の定めた除染基準「空間線量が1時間あたり0.23μSv(マイクロシーベルト)」を下回っていました

単位: μSV/時

学校名	測定値	学校名	測定値
遠野小	0.06	青笹小	0.05
綾織小	0.06	上郷小	0.05
小友小	0.06	宮守小	0.05
附馬牛小	0.05	達曽部小	0.04
遠野北小	0.05	鱒沢小	0.06
土淵小	0.06		

※地表から1mの測定値です

No. 4 子どもの健康のために、忘れずに!

三種混合予防接種の未接種者はお早めに

市は、平成24年7月生まれまでの子どもを対象に三種混合予防接種を実施しています。これは、百日咳・ジフテリア・破傷風の免疫をつける予防接種で、7歳6カ月までに計4回の接種が必要です。現在流通しているワクチンの有効期限は本年12月16日までで、接種回数が不足している人はこの期限内に接種する必要があります。母子健康手帳の予防接種記録を確認し、回数が不足している人は早めに接種しましょう。

Check!

■対象者
平成24年7月以前に出生した7歳6カ月未満の子どもで、三種混合予防接種の接種回数が**3回以下**の人

■問い合わせ
遠野健康福祉の里(☎62-5111内線12)

No. 5 妊娠を希望する人は、ぜひ確認を。

風しんの抗体検査が無料で受けられます

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。風しんの予防には、ワクチンを接種し、免疫をつけることが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができ、県は無料でこの抗体検査を実施します。赤ちゃんが生まれつきの病気にかからないよう、ぜひご利用ください。

Check!

■対象 県内在住の①妊娠を希望する女性②妊娠を希望する女性の配偶者(事実婚含む)
■実施期間 平成27年3月31日まで
■実施場所 県のHPをご覧ください(<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>)
■必要書類 運転免許証や保険証など住所が分かるもの
■その他 受診を希望する医療機関へ事前にお問い合わせください
■問い合わせ 県保健福祉部医療政策室(☎019-629-5472)

No. 6 市民の健康を一緒に支えませんか?

非常勤職員を募集中

市は、母子保健専門員と中央診療所の医療事務職員を募集します。詳しくは、お問い合わせください。

【母子保健専門員＝1人募集】

■業務内容 乳幼児の家庭訪問や健康診査など
■月額報酬 191,600円
■応募資格 ①保健師、看護師のいずれかの免許がある②普通自動車運転免許がある③パソコン操作ができる一の全てに該当する人

【中央診療所医療事務職員＝1人募集】

■月額報酬 144,500円
■応募資格 ①医療事務の資格がある②普通自動車運転免許がある③パソコン操作ができる一の全てに該当する人

<共通事項>

■勤務条件 勤務時間▷週29時間 任用期間▷平成26年8月1日から平成27年3月31日までの期限付き任用(条件により更新の可能性あり) その他▷社会保険、厚生年金、雇用保険が適用
■応募方法 7月15日(火)までに遠野健康福祉の里の窓口へ履歴書(市販のもの可)を提出
■選考について 実施日▷7月20日(日) 場所▷遠野健康福祉の里 方法▷作文、面接
■問い合わせ 遠野健康福祉の里(☎62-5111内線12、29)

Check!

市長ひとこと

プラス思考

民間研究機関「日本創生会議」の試算によると、人口減少により2040年までに消滅する可能性のある都市は、全国で896に上るとのこと。遠野でも「赤ちゃんの泣き声を聞くことがなくなつたなあ」「高校生以下の子どもがいなくなった」という声を耳にします。しかし、そんな中でも多くの市民の皆さんは、住んでいる所に誇りを持ち、強かに笑顔絶やさず頑張っています。

私は平成19年から、総務省の過疎問題懇談会の委員として人口減少問題などについて議論に参加しております。「消滅」あるいは「限界」という言葉をよく耳にするけれど、この懇談会ではそういった言葉は使わず、プラス思考で議論を展開しましょうと提案しました。委員の皆さんから、賛同を頂いたことをつい昨日のことのように思い出しております。人口減少の地域を取り巻く環境は年々厳しさを増しておりますが、先日の政策会議で目に飛び込んできた活字があります。「良いものを「良い状態」で「より長く」。大事にした言葉です。」(本田敏秋)